

**2026年度**

# **事業計画書**

**自 2026年4月1日**

**至 2027年3月31日**

**公益財団法人 自動車リサイクル高度化財団**

**東京都港区新橋六丁目19番19号  
アセント新橋2階**

## 【事業概況】

当財団においては、2017年3月の設立以来、将来の地球環境の保全、自然環境の保護・整備と循環型社会の推進に資することを目的とし、自動車のリサイクルの高度化等に関する学術的・実践的調査・研究の推進を行うとともに、消費者団体等の自動車リサイクル等に関する周知活動の支援や自動車の解体・リサイクル等の安全・確実、かつ、円滑な遂行に資する情報・機器等の開発・普及等に資する事業を行ってきた。近年、AI/IoT等のデジタル技術の急速な発展や、菅義偉首相（当時）が2020年10月の臨時国会の所信表明演説において「2050年カーボンニュートラル」を目指すことを宣言したことなど、自動車リサイクルを取り巻く環境は大きく変化している。このような状況に鑑みて、2026年度は上記の目的を達成するために、以下の助成対象事業および自主事業を行う。

## 【自動車リサイクルの高度化等に資する事業】

### 1. 助成対象事業（概算総額：244百万円）

#### （1） 継続事業（概算総額：-百万円）

2026年3月13日開催の選考委員会にて2025年度に採択した1事業について継続審議を行ったが、継続されないことが決議された。

#### （2） 新規事業（概算総額：44百万円）

2026年度新たに以下の公募事業テーマについて公募を実施した結果、9件の申請があり、8件を書類審査実施し6件が通過、2026年3月11日開催の選考委員会にてヒアリング審査を行った結果、以下の通り1件が最終選考で承認された。

##### ① ASRの低減等に資する再生材の基礎技術研究・開発事業(概算：44百万円)

実施主体：浜松ホトニクス株式会社

事業名称：黒色プラスチック選別用照明のLED化とASRリサイクル検証

事業概要：低発熱中赤外LEDライン照明ユニットを開発し、自動車由来の黒色プラスチック選別の安全性向上について取り組む。選別機に実装し選別評価する事でASRリサイクルの課題抽出を行い、自動車向け再生材利用促進を目指す。

上記に加え予備費として2億円の予算を計上する。

[公募事業テーマ]

●カテゴリーA

- ・ ASR の低減等<sup>※</sup>に資する再生材の基礎技術研究・開発事業

概要：使用済自動車の樹脂部品の劣化特性の研究や使用済自動車から発生する再生可能な樹脂の選別技術に関する基礎研究に対する助成を実施。

- ・ ASR の低減等<sup>※</sup>と自動車への再生材の利用に向けた設備開発事業

概要：使用済自動車および ASR からの自動車への再利用に向けた樹脂等選別装置の開発に対する助成を実施。

- ・ ASR の低減等<sup>※</sup>・自動車 3R の高度化に資するリサイクルシステムの事業性評価事業

概要：自動車ガラス等の取り外し、材料リサイクルシステム構築・事業性に関して検証。

- ・自動車リサイクルに関する周知活動支援事業

概要：自動車リサイクルの取り組みやメリットを消費者に認知していただき、また、上記取り組みが実現化した際に、積極的に再生材等を活用いただけるよう、セミナー・展示会の開催に金銭的・人的・物的支援を行う。

\* ASR の低減等：ASR の低減に加え、次世代のマテリアルリサイクル（イメージ例：CFRP・LiB のマテリアルリサイクル等）を含める。

●カテゴリーB

- ・ AI/IoT を活用した、自動車リサイクルにおけるトレーサビリティ強化検証事業

- ・ AI/IoT を活用した、自動車リサイクルにおけるナレッジシステム構築事業

- ・ AI/IoT を活用した、自動車リサイクルにおける中古パーツの利用促進検証事業

## 2. 自主事業（概算総額：306 百万円）【金額は税抜き】

### （1） 継続事業（概算総額：106 百万円）

2026 年 3 月 3 日開催の業務委託委員会にて 2024 年度に開始した 1 事業、並びに 2025 年度に開始した 2 事業について継続して実施することが承認された。以下①解体事業者における異常電池の適正処理実証については、一部計画変更案が提示され、変更後の内容にて承認された。

#### ① 解体事業者における異常電池の適正処理実証（概算：70 百万円）

概要：解体事業者での異常電池の ELV からの取り外し、塩水放電処理、保管方法、輸送荷姿等について、安全性等の実証とマニュアルを作成し周知を図る。

#### ② 解体事業者の実態把握調査（概算：20 百万円）

概要：全国の解体業保有業者 約 4,000 社を調査対象としアンケートを実施。

外資系事業者も含めた解体業界の実態を調査することで、今後の事業推進のベースデータを収集し、各種実証の有効な推進に寄与する。

#### ③ モーター磁石リサイクル実証事業（概算：16 百万円）

※上記は実証事業に関する委託事業者への費用を含まない

概要：電気自動車の普及に伴い、国内リサイクル体制整備の必要性から、廃モーター発生量が少ない現段階からの、リサイクル技術・工程の検討とコスト低減に向けた課題整理を実施し、国内における「磁石 to 磁石」リサイクルの実現を目指す。

### （2） 新規事業（概算総額：200 百万円）

上記継続事業に加え、自主事業で取り上げるべき新規テーマが生じた場合に備えて、2 億円の予算を計上する。

以上